

『秋は収穫とぜんそくの季節』

文／国保多古中央病院 内科 宇都宮隆法

今年も実りの秋がやってきました。多古米をはじめ、ヤマトイモ、サツマイモ、ブドウなど、多古町の代表的な農産物の収穫を楽しみにしている方や「これから忙しくなるぞ」と心の準備をしている方もいるかと思えます。

秋は人々がアウトドアで野山に入ることが増え、台風や長雨などの自然災害も多く、屋外にいた小動物や虫が屋内に入り込んでくるなど、けがや病気も増える季節です。

ぜんそくをお持ちの方は、この時期に咳が増えることがあります。一般的な傾向として、ぜんそくやアトピー性皮膚炎などのアレルギー性疾患を持つ病として居る方は、その血縁関係にある方も同じアレルギー性疾患を発症しやすいといわれています。

「体質だから」とあきらめるのは、しっかりとした予防的な治療を行ってからも遅くはありません。内服薬と吸入薬の服用を根気強く行うことで、発作を抑えることができます。長期の旅行などを楽しむためにも、予防治療が重要です。近年は、ぜんそく発作を引き起こしているアレルギー反応の原因物質を突き止めて、アレルギー物質に体



重点
近隣の医療機関を受診されている方で当院を受診する際には、お薬手帳など投薬内容が確認できるものを持参してください。



薬を飲むのをやめたらまた発作が出てきたわ…。

『子ども手当』の申請はお済みですか？

今年4月から、児童手当は「子ども手当」に変わりました。従来の児童手当は「小学校6年生までの子ども」が支給対象で、所得制限が設けられていましたが、「子ども手当」では支給対象が「中学校3年生までの子ども」にまで拡大され、所得制限もありません。制度開始に伴って「子ども手当」の支給対象となった方の申請期限は、**9月30日(木)**となっています。これを過ぎると満額の支給が受けられなくなりますので、ご注意ください。



お問い合わせ●子育て支援課こども係 ☎76-5412

『多古町都市計画マスタープラン見直し検討委員会委員』を公募します！

「多古町都市計画マスタープラン」は、町の将来像を展望した上で、土地利用や道路などの都市施設の整備と、関連施策に関する基本方針を定めることにより、長期的視点に立った都市づくりの総合的かつ体系的な指針となるものです。町では、平成24年3月を目途に新しいマスタープランの策定を行うため、『多古町都市計画マスタープラン見直し検討委員会』を設置し、作業を進めることにしました。そこで、この検討委員会の委員のうち、4人を町民の皆さんから公募します。

★ 公募の内容 ★

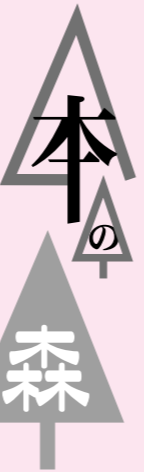
- 定員** 次のすべての要件を満たす町民4人【応募多数の場合は抽選】
 - ①9月1日現在で20歳以上の方
 - ②平日の会議（原則として2時間程度）に出席できる方
 - ③多古町のまちづくりに関心があり、真摯に検討できる方
 - ④多古町在住で、将来にわたって多古町に居住予定の方
 - ⑤多古町の公職にない方
- 任期** マスタープランの策定終了まで【平成24年3月ごろを予定】（会議は、策定終了までに計5回程度開催する予定です。）



申込方法 「多古町都市計画マスタープラン見直し検討委員会委員応募」と書いて、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記し、応募理由・多古町の将来像についてのお考えを記入の上、直接持参、郵送、FAX、電子メールのいずれかの方法でお申し込みください。（様式は問いません。記入用紙は、都市整備課の窓口でも配布しています。）
（町ホームページからのダウンロードも可能です。）

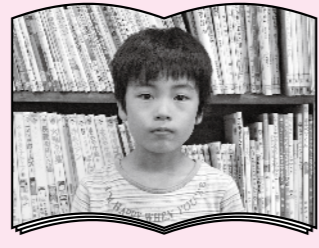
- 申込期限** 9月24日（金）【郵送の場合は当日消印有効】
- 申込先** 多古町役場都市整備課都市計画室（〒289-2292 多古町多古584番地）
☎76-5407 ☎76-7144
✉toshikeikaku@town.tako.chiba.jp

お問い合わせ●都市整備課都市計画室 ☎76-5407



『わたしの一冊』

自分と同年代の小学校低・中学年の皆さんに紹介したい一冊です。この本は、お母さんが子どものころに読んで面白かったと薦められて読みました。ある日、鍵っ子の広一は家の鍵を無くしてしまいます。困った広一は、友達の家に行っても遊べずにウロウロしていると、突然目の前におばあさんが現れました。そのおばあさんが、たくさんの鍵を持っていて「かぎばあさん」です。



本植人：高橋知希さん(西古内)

広一は、かぎばあさんから鍵をもらって家に入ることができました。それから、お母さんが帰るまで一緒に留守番をします。その間、かぎばあさんに料理を作ってもらったので、僕は「とても良いおばあさんだなあ」

僕が本に興味を持ったのは、小さいころよみかかせ会の「ぐるんぱ」に通い始めてからです。最初はお母さんに読んでもらったり、一人のときは本をめくるだけでしたが、今では、お父さんとお母さんが仕事から帰るまでの間、本を読んで待っています。夏休み中は一日に2〜3冊は読んでいます。今は手品の本を読んでいるので、読んだ後、お父さんと一緒に手品をすることがとても楽しみです。



『ふしぎなかぎばあさん』
作：手島悠介
発行：岩崎書店

（あらすじ）
鍵っ子の広一はテストの出来が悪かったことと家の鍵を無くしたことで気分が憂うつに。そんなとき「かぎばあさん」が現れ、母親が帰ってくるまで広一と過ごすことに。かぎばあさんの不思議な物語です。

今回紹介した本は、町公民館内の図書室に置いてあります。リクエストにもお応えしますので、お気軽にご利用ください。
■多古町公民館図書室 ☎79-3406
開館時間：午前8時30分～午後5時
【9月の休館日】
20日(月)・23日(木)